
概要

EQUIOS Ver7.02EQ201T2 です。

(新規項目 レコーダ：1 件)

(修正項目 レコーダ：2 件)

新規項目

【Recorder】

1 本パッチにて下記のレコーダを登録できるようになりました。

詳細については最寄りの弊社窓口へお問い合わせください。

- ・ PT-R FX870N
- ・ PT-R FX1200N
- ・ PT-R FX1524N

修正項目

【Recorder】

1 PT-R8600N2 に SPM 「TF1-P12FD002-12」 が登録できない問題

レコーダ設定ツールで PT-R8600N2 を追加する際に、SPM 「TF1-P12FD002-12」 が登録できない問題を修正しました。

また、本パッチ適用前に登録した PT-R8600N2 には、レコーダ設定ツールで SPM 「TF1-P12FD002-12」 の追加設定が可能です。

[021419EQ]

2 RipforRecorder プラグインでネガ出力指定時に、レコーダ出力エラーになる場合がある問題

RipforRecorder プラグインでネガ出力が指定されたチケットでレコーダ出力を行うと、「1111048 PIF 出力エラー error in ST command」というエラーが表示され、レコーダ出力できない場合がある問題を修正しました。

[007019EQ,011119EQ]

修正トラブルレポート

【Recorder】

EQ-19-0070 特定データの出力時に PIF エラーとなる。

EQ-19-0111 VerUp 後、エラー1111048 が発生するようになり出力できなくなった

EQ-19-0214 PT-R8600N2 で「TF1-P12FD002-12」がインストールできない

留意点**【Recorder】****1 ラインセレクターでの接続**

本パッチで新たに接続可能となるレコーダとの接続において、ラインセレクター (LS-313) を使用する場合は、レコーダ側の設定を変更する必要があります。また、LS-313 を接続した場合、出力サイズや出力解像度によって、生産性が劣化する場合があります。

2 PIF 基板経由での接続

Windows Server 2012 / 2016 OS で稼動する EQUIOS サーバマシンでは、PIF 基板経由でのレコーダ接続はできません。EP コンバータをお使いください。

留意点解除項目**拠点向けの情報****メンテナンス関連****【Recorder】****1 レコーダの解像度のサポートは下表のようになります。**

サポート外の解像度の 1bitTIFF を入力してのレコーダへダイレクト出力する場合、レコーダ出力時にエラーとなります。

	1200	2000	2400	2438	2540	4000	4800
PT-R FX870N	-	-	○	-	○	-	○
PT-R FX1200N	-	-	○	-	○	-	○
PT-R FX1524N	-	-	○	-	○	-	○

評価チーム向け情報**【Recorder】****1 PT-R FX870N の EQUIOS での主な対応仕様は下記のとおりです。**

- ・出力機登録タイプ名： PT-R FX870N
- ・最大サイズ(主 x 副)： 762 x 870
- ・最大マガジン数： 60
- ・プレロード仕様： ジョブ間プレロードなし、強制プレロードなし
- ・FineScreen モード： あり
- ・エンジン管理機能： なし

2 PT-R FX1200N の EQUIOS での主な対応仕様は下記のとおりです。

- ・出力機登録タイプ名： PT-R FX1200N
- ・最大サイズ(主 x 副)： 1062 x 1200
- ・最大マガジン数： 60
- ・プレロード仕様： ジョブ間プレロードなし、強制プレロードなし
- ・FineScreen モード： あり
- ・エンジン管理機能： なし

3 PT-R FX1524N の EQUIOS での主な対応仕様は下記のとおりです。

- ・出力機登録タイプ名： PT-R FX1524N
- ・最大サイズ(主 x 副)： 1062 x 1524
- ・最大マガジン数： 60
- ・プレロード仕様： ジョブ間プレロードなし、強制プレロードなし
- ・FineScreen モード： あり
- ・エンジン管理機能： なし

内部トラブル修正項目

その他

インストール前提条件

■ インストールモジュールリスト

以上